

顛末書

名 称	中野市豊田地域小学校統合準備委員会 第8回通学・安全部会
日 時	令和元年6月27日(木) 午後6時30分～午後7時45分
会 場	豊田公民館 会議室
出席者	出席委員 7名 神田正彦部会長、神田茂貞、西野彩絵、北原勉、金子顕智、大山美香、 瀧澤里美 事務局職員等 宮嶋学校教育課長、阿藤学校教育課長補佐兼総務係長、清野指導主事、 宮崎主査
次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 会議事項 ・通学方法について 4 その他 5 閉 会
主な質問・意見等	<p>【通学方法関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 奥手山など現在子どもがいない区について、将来的に子どもが居住する場合も考えられるので、通学方法を決めておいた方が良いのでは。 ● 穴田においては、夏場は徒歩でも良いが、冬場はバスにしても良いのでは。 ● 上今井の城下団地について、歩道がない場所があり、冬場は除雪の関係で道路の路肩に雪が溜まり、歩くのに危険と思われるので、冬場はバス通学が良いのでは。 ● 予め明確に夏場と冬場の通学方法を分けておくのも良いのでは。 ● 穴田は行政区で通学方法を線引きするのではなく、距離で線引きするとかできないか。穴田の遠いところはバス通学でも良いのでは。例えば穴田公民館とかで。 ● 毛野川～米山間について、冬場は厳しいのでは。除雪してないかもしれない。 ● 涌井や三俣の児童で、現在のバスの出発時間より30分程度早くなることについては、他の地区の児童も7時15分くらいには歩いている児童もいるので、問題は無いと思う。 ● 碓について、距離的に2km弱であると穴田と同程度なので、仮にバス通学にすると穴田でもバス通学にしてほしいとの要望が出てくると思う。 ● 碓について。民家の無いところを1人で歩くことについて心配なので、最低でも民家のあるところまで乗せていくことなどはどうか。 <p>【バス停関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● バス停の位置については、子どもたちがバスを待つ間の溜まり場がしっかり確保できるところでないといけないと思う。 ● 毛野川のバス停の位置について、毛野川入口のところはバス停になると子どもを通らせたくない川沿いの道を通ることになる。 ● 毛野川は消防器具置き場前あたりが良いのでは。 ● 上今井のバス停は公民館前が良いのでは。 ● バス停の数は増やせるか。もう少し細かく設定しても良いのでは。 ● 永田の児童は北永江のバス停となっているが、道路横断等の関係で永田小学校の方が良いという声がある。
今回のまとめと次回検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ● 今回出された意見を整理し、今後更に検討していく。